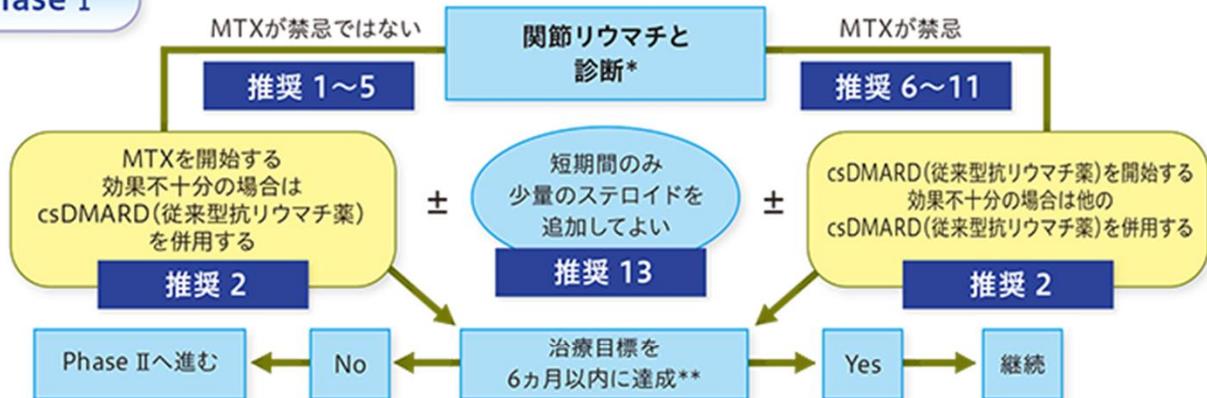
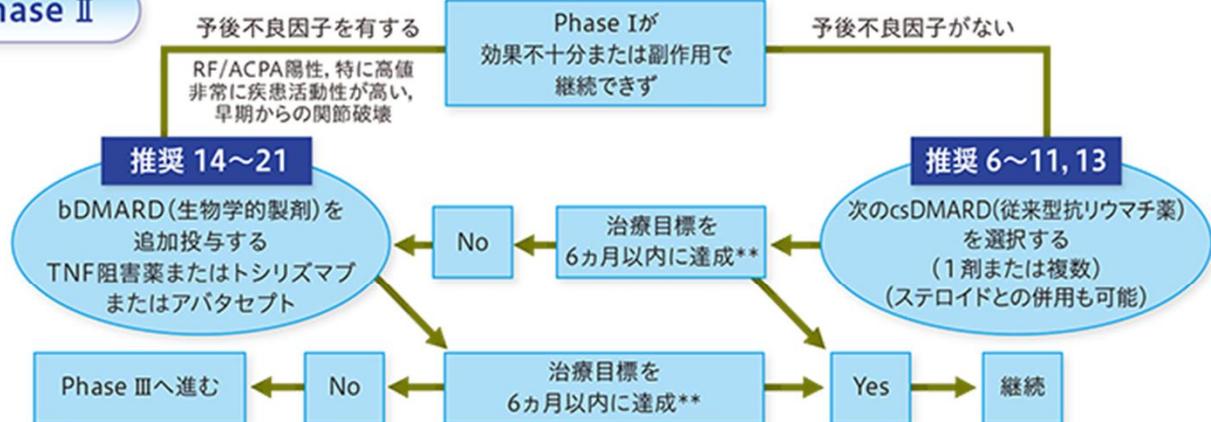


Phase I



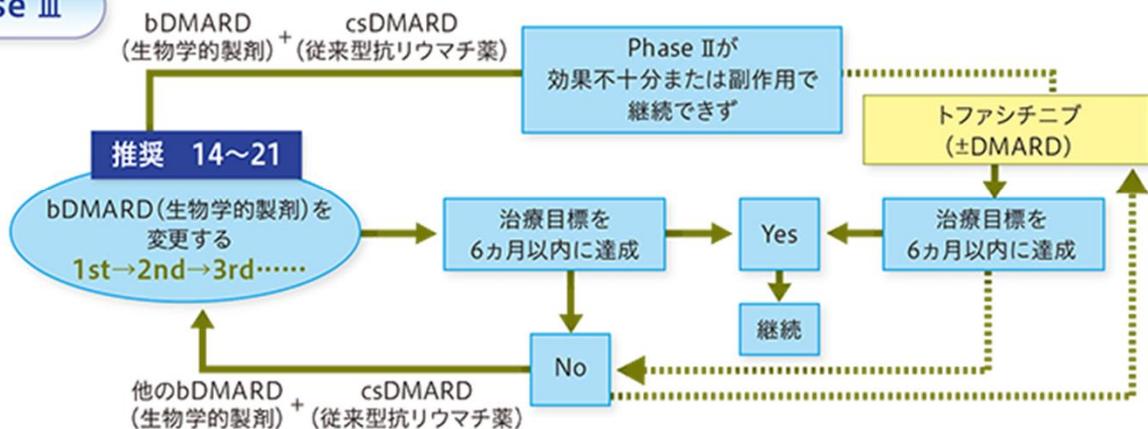
*早期診断には2010 ACR/EULAR 分類基準が有用である。
**治療目標は臨床的寛解であるが、達成できない場合でも低疾患活動性を目指す。
治療目標は少なくとも6か月で達成することを目指し、3か月で改善がみられなければ治療を見直す必要がある。

Phase II



**治療目標は臨床的寛解であるが、達成できない場合でも低疾患活動性を目指す。
治療目標は少なくとも6か月で達成することを目指し、3か月で改善がみられなければ治療を見直す必要がある。
RF/ACPA：リウマトイド因子/抗シトルリン化ヘプテド抗体

Phase III



—— 推奨しうる
..... 現在日本で対照群をおいた全例市販後調査が実施中である。JCRガイドラインを参照のこと。
bDMARD(生物学的製剤)無効例に対するトファシチニブの有効性、安全性は日本人で確認されていない。
トファシチニブ無効例に対するbDMARD(生物学的製剤)の有効性、安全性は日本人で確認されていない。